

## 5.7.3 属性

5.7.2節にて運用されると規程された要素に関する属性の運用ガイドラインを表 5-9に示す。

「○」「△」「－」の意味はARIB STD-B24第二編 附属2「第3章 凡例」に従う。

表 5-9 要素の属性に関する運用ガイドライン

要素	属性	運用	運用上の制約
Common Attributes			
Core Attributes			
	id	○	最大 128 バイトの文字列。
	class	○	
	title	－	
I18N Attributes			
	xml:lang	△	"ja" に固定とする。
Events Attributes			
	onclick	○	
	ondblclick	－	
	onmousedown	－	
	onmouseup	－	
	onmouseover	－	
	onmousemove	－	
	onmouseout	－	
	onkeypress	－	
	onkeydown	○	
	onkeyup	○	
Style Attributes			
	style	○	
Core Modules			
Structure Module			
body	%Common.attrib;		
	%Core.attrib;	○	
	%I18n.attrib;	△	
	%Events.attrib;	－	
	%Style.attrib;	○	
head	%I18n.attrib;	△	
	profile	－	
title	%I18n.attrib;	△	
Text Module			
br	%Core.attrib;	○	
	%Style.attrib;	○	
div	%Common.attrib;	○	
p	%Common.attrib;	○	
span	%Common.attrib;	○	
Hypertext Module			
a	%Common.attrib;	○	
	accesskey	○	
	charset	△	"EUC-JP"に固定とする。
	href	○	
	hreflang	－	
	rel	－	
	rev	－	
	tabindex	－	
	type	－	

要素	属性	運用	運用上の制約
Forms Modules			
Forms Module			
input	%Common.attrib;		
	%Core.attrib;	○	
	%l18n.attrib;	△	
	%Events.attrib;	○	inputmode 属性が"direct"又は"indirect"の場合は指定できない
	%Style.attrib;	○	
	accesskey	○	
	checked	—	
	disabled	○	
	readonly	○	
	maxlength	○	1 から 40。注 1)
	alt		
	name	—	
	size	—	
	src	—	
	tabindex	—	
	accept	—	
	type	○	"text"、"password" のいずれかとする。
	value	○	
	inputmode	○	
	characterType	○	
Client-side Image Map			
a&	coords	—	
	shape	—	
input&	usemap	—	
object&	usemap	—	
Server-side Image Map			
input&	ismap	—	
Object Module			
object	%Common.attrib;	○	
	archive	—	
	classid	—	
	codebase	—	
	codetype	—	
	data	○	
	declare	—	
	height	—	
	name	—	
	standby	—	
	tabindex	—	
	type	○	
	width	—	
Target Module			
a&	target	—	
Intrinsic Events Module			
a&	onblur	○	
	onfocus	○	
body&	onload	○	
	onunload	○	注 3)
input&	onfocus	○	
	onblur	○	
	onselect	—	
	onchange	○	注 2)

要素	属性	運用	運用上の制約
Metainformation Module			
meta	%l18n.attrib;	△	
	http-equiv	—	
	name	○	
	content	○	
	scheme	—	
Scripting Module			
script	charset	△	"EUC-JP"に固定とする。
	type	△	"text/X-arib-ecmascript; charset="euc-jp""に固定とする。
	src	○	
	defer	—	
	xml:space	—	
Style Sheet Module			
style	%l18n.attrib;	△	
	type	△	"text/css"に固定とする。
	media	△	"tv"に固定とする。
	title	—	
	xml:space	—	
Link Module			
link	%Common.attrib;	—	
	charset	△	"EUC-JP"に固定とする。
	href	○	
	hreflang	—	
	media	△	"tv"に固定とする。
	rel	△	"stylesheet"に固定とする。
	rev	—	
	type	△	"text/css"に固定とする。
BML モジュール			
bml	%l18n.attrtib;	△	
	version	—	
	xmlns	—	
bevent	id	○	
beitem	id	○	
	type	○	以下のいずれかとする： "EventMessageFired", "ModuleUpdated", "ModuleLocked", "TimerFired", "DataEventChanged", "CCStatusChanged", "MainAudioStreamChanged", "NPTReferred", "MediaStopped", "DataButtonPressed", "IPConnectionTerminated"
	onoccur	○	
	es_ref	○	
	message_group_id	○	"0"又は'1'とする。省略時は"0"が指定されたものとする。
	message_id	○	
	message_version	○	
	module_ref	○	
	language_tag	○	
	register_id	—	
	service_id	—	
	event_id	—	
	peripheral_ref	—	
	time_mode	○	以下のいずれかとする： "absolute", "origAbsolute", "NPT"
	time_value	○	
	object_id	○	type 属性が "audio/X-arib-aiff"、 "audio/X-arib-mpeg2-aac"のいずれかであり、かつカラーセル伝送されたデータを指し示す object 要素の ID のみ。

要素	属性	運用	運用上の制約
	subscribe	○	
iframe&	align	—	
body&	invisible	○	
div&	accesskey	○	
	onfocus	○	
	onblur	○	
p&	accesskey	○	
	onfocus	○	
	onblur	○	
span&	accesskey	○	
	onfocus	○	
	onblur	○	
a&	effect	—	
bdo&	orientation	—	
object&	streamposition	○	当該 object 要素が参照するモノメディアが MNG の場合 (type="image/X-arib-mng")、フレーム番号を指定する。その他のメディアの場合には"0"とする。
	streamlooping	△	"1" に固定とする。
	streampositionnumerator	—	
	streampositiondenominator	—	
	streamstatus	○	当該 object 要素が参照するモノメディアによって初期値を指定する。ARIB-B24 第二編付属 2「4.8.5.2.ストリームの提示動作に関する属性の運用」を参照。
	streamlevel	—	
	remain	○	当該 object 要素の参照するモノメディアによって、適用可否が決まる。ARIB-B24 第二編付属 2「4.8.5.1.remain 属性の type 毎の適用」を参照。
	accesskey	○	
	onfocus	○	
	onblur	○	

注1) inputでmaxlengthを超えて入力した場合は切り捨てられる。枠を超えた場合は、あふれた分の表示を行わない。

注2) change割り込み事象の発生タイミングは別の要素にフォーカスを移したときとする。

注3) onunloadイベントハンドラ内で使える放送用拡張関数はwritePersistentArray() 及び unlockModuleOnMemory()のみとする。処理内容は、速やかに文書遷移が可能なUregへの設定や簡単な条件判断等、短時間に終了する処理のみに限定することが望ましい。

#### 5.7.4 beitem 要素 に関する運用

ARIB STD-B24第二編 付属 2「4.3.4. beitem 要素に関する運用」参照。

#### 5.7.5 BML 要素拡張モジュール（割り込み事象）の運用

- 同時に subscribe 属性を subscribe に設定できる ModuleUpdated 割り込み事象の最大数は 16 とする。
- 同時に subscribe 属性を subscribe に設定できる TimerFired 割り込み事象の最大数は 8 とする。TimerFired で指定された再生時絶対時刻/受信時時刻/NPT 時刻が BML 文書解釈時点で既に過ぎた時刻である場合、即時発火することとする。
- 同一の割り込み事象に対して複数のイベントハンドラを対応付けた場合の動作は商品企画とする。例えば下記のような記述がこれに該当する。
  - type 属性が"DateEventChanged"であるような beitem 要素を複数記述する。

- **type** 属性が"**ModuleUpdated**"であるような **beitem** 要素を複数記述し、それらの **module\_ref** 属性で同一のモジュールを指定する。
- 提示中以外の **ES** においてデータイベントが更新されても、**DataEventChanged** 割り込み事象は発生しない。
- 提示中以外の **ES** で伝送されるモジュールについて **ModuleUpdated** 割り込み事象を **subscribe** している場合に、そのモジュールを伝送する **ES** でデータイベントが更新され、かつそれに伴う引き戻しが発生しない場合、**ModuleUpdated** 割り込み事象が発生する。この場合の **ModuleUpdated** 割り込み事象の **status** の値として新たに下記の値を運用する。

status の値	意味
4	当該モジュールが伝送されている <b>ES</b> においてデータイベントが更新された。データイベント更新前は当該モジュールは送出されておらず、データイベント更新後は当該モジュールが送出されている。
5	当該モジュールが伝送されている <b>ES</b> においてデータイベントが更新された。データイベント更新前は当該モジュールは送出されており、データイベント更新後は当該モジュールが送出されていない。
6	当該モジュールが伝送されている <b>ES</b> においてデータイベントが更新された。データイベント更新前、データイベント更新後とも当該モジュールが送出されている。

- **MainAudioStreamChanged** 割り込み事象に関して、以下の規定を設ける。
  - **status** が-1 の割り込み事象が発生する要因は、受信機の商品企画とする。
  - 提示中の文書で音声ストリームを提示している **object** 要素の **data** 属性が"/-1"以外の場合、または、該当 **object** 要素の **data** 属性の書き換えが発生した場合の **MainAudioStreamChanged** 割り込み事象の発生は、受信機の商品企画とする。
  - 提示中の文書で音声ストリームを提示している **object** 要素の **streamstatus** 属性が "play" 以外の場合、または、該当 **object** 要素の **streamstatus** 属性の書き換えが発生した場合の **MainAudioStreamChanged** 割り込み事象の発生は、受信機の商品企画とする。
  - **es\_ref** に"/-1"が指定された場合の動作は商品企画とする。
  - 文書内に音声ストリームを参照する **object** 要素が存在しない場合の動作は、受信機の商品企画とする。
  - **es\_ref** 属性にチャンネル **id** が指定されていない場合は、メイン音声の主副切り替えにおいてイベントは発生しない。
  - **MainAudioStreamChanged** 割り込み事象において、**es\_ref** を省略した場合、対象となる **ES** ならびにチャンネル **id** についても特定できないため、どのような場合に割り込み事象を発生させるかは、受信機の商品企画となる。したがって、安全にコンテンツを運用するためには、必ず **es\_ref** を指定することが望ましい。